

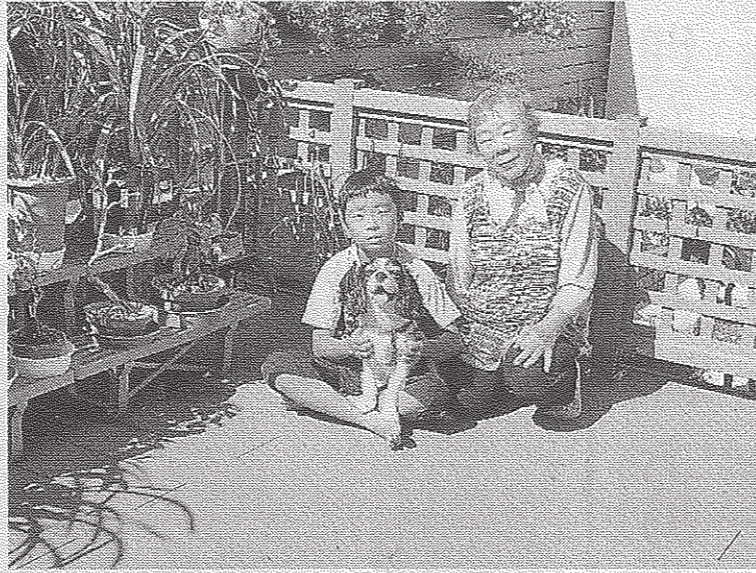
# 生活

seikatsu@asahi.com

## ペットにも快適住まいを

人もペットも暮らしやすく。滑りにくい床や脱臭機能のある壁、自由に走り回れるデッキなど、ペットに合わせた住まいをリフォームする人が増えている。全国で飼われる犬猫は推計2千万匹。建材メーカーも市場を広げる好機ととらえ、PRに力を入れる。

広島県廿日市市の上宮恵美子さん(76)は今年、室内で飼っている愛犬「ラッキー」専用のデッキを庭に増築した。上宮さんは昨年、新築した家で娘夫婦や孫と同居するようになった。ラッキーの居場所を傷つけないよう1室に限定していたが、自由に走り回れるようにと上宮さんの1階自室前の庭に、柵で囲んだ10畳ほどのデッキを設置。体を洗う専用シンクもつけた。ラッキーは日中デッキに出るのが好きだ。デッキの材質は木の粉とプラスチックが原料の再生木。「腐らないし、犬がかんだりひっかいたりしてもささくれないので安心です」



犬が走り回れるデッキを作った上宮さん宅。園芸スペースや孫の遊び場にもなっている。広島県廿日市市

自宅マンションを全面リフォームした。リフォーム前は断熱が不十分で結露とカビがひどく、猫が爪でひっかく壁は傷だらけ。愛犬「こきすけ」はフローリングで滑って腰を痛め、カビが原因と思われるアトピー性皮膚炎も患っていた。五井さんは市内のリフォーム会社、ライファ多摩の広瀬大三社長に相談。ざらっとして滑りにくい床タイルや傷つきにくい壁紙、湿気や臭いを吸収するタイル状の壁材を使う「ペット仕様」のプランを提案された。断熱対策を施し、水回りも一新。55平方メートルのリフォームに約1千万円かかったが、こきすけの腰と皮膚炎はすっかり快復した。「獣医さん通いで週に何万円も払うことを思えば、リフォームは大正解。ペットのために作ったような部屋ですが、人間も快適です」

建材メーカーの間ではここ数年、「犬猫向き」を前面に掲げたセールスが目立つ。リイマン・ショック後の2009年を底にリフォーム市場は



五井さん宅のリビング。床は滑りにくいタイル敷き、天井には猫が歩く「キャットウォーク」、壁下には犬猫の出入り口をつけた。東京都多摩市

## 滑りにくい床・脱臭の壁 リフォーム増狙う業者



犬猫の写真が目玉の建材メーカーのチラシ、パンフレット。拡大に転じており、身近なペットを手がかりに需要の裾野を広げるねらいだ。YKK APが扱う再生木の「リウッドデッキ」は、今年4～10月の出荷が昨年同期比で3割増えた。4畳相当のデッキにステップをつけた場合の商品価格は30万円弱。ペット専用ではないが、ささくれないなど天然木と違う特長が支持されているという。同社は昨年からはペットを意識したPRに力を入れる。既存の窓に取り付ける内窓も、本来は外からの騒音防止や断熱が目的だが、「ペットの鳴き声が近所に漏れない」などと売り込み、取扱店にも犬や猫の写真をあしらったチラシを置いてアピールする。

今年4月、同社が犬を飼うシニア世代約730人に調査したところ、小型犬人気もあって飼育場所は居室内が約8割。何らかの住宅リフォームを希望する人が4割弱いた。滑りにくい床(16・5%)、飛び出し防止の門やフェンス(10・9%)、犬の足洗い場(8・3%)などの需要が多かった。「様々なニーズにこたえて、ペットも人も快適に暮らせる住まいを提案したい」(広報部)と、ペットに対応したリフォーム例や建材を特集したパンフレットを作成している。(佐藤美千代)

## 患者を生かす

2369

### 脳と神経

脳動脈に未破裂のこぶ(動脈瘤)が見つかった。破れ予防の手術を避け、様子を見る道を選んだ人も多い。6年前に脳動脈瘤が見つかった東京都の女性(64)もその一人だ。

2006年5月。左目の奥に味わったことのない痛みを感じ、近所の病院に駆け込んだ。だが、診察の間に、痛みはうそのように消え、160台まで上がった血圧は元通りになった。結局、目に異常はなかった。「念のため」と脳の血管を撮影する「MRA検査」を受けた

### 未破裂のこぶ④

なり、意識が戻らないまま3日後に亡くなっていったからだ。入院して詳しい検査を受けることが決まった。心配かけまいと、娘2人には黙っていた。

しかし、直前になって「彼を紹介したい」と20代の娘が言い出した。その日はまさに入院する日。「ママいらないから、別の日にして」と言うと、「何かあるね」と勘ぐられた。黙っていたら、娘と話し合い、入院を取りやめて別の病院を探した。数日後、NTT東日本関東病院(東

## 「自閉症の人が求める支援」DVDに

気が散って集中しにくい。見通しがつかなくて不安。自閉症の人の思考や感じ方に合わせ、自立へ導く方法を解説したDVD「自閉症の人が求める支援」が発売された。

自分が何をしたらいいかを理解できるよう、情報や環境を整理する支援が必要と説く。生徒ごとに勉強スペースの間仕切りのある教室。手の洗い方を絵と文字で説明した手順書を見て行動する男児の様子。

働く場、家庭などでの工夫を、自閉症の人の生活ぶりの映像を交えて紹介している。

佐々木正美・川崎医療福祉大特任教授らが監修。朝日新聞厚生文化事業団が制作、全3巻。各4300円、3巻セットは来年3月まで9900円。申し込みは事業団のホームページhttp://www.asahi-welfare.or.jp/



頭の血管にこぶが見つかった翌年、次女の結婚式で記念写真を撮った本人(右)提供

た。前の凹ついていた小森田さん(56)に診てもらった。手術を必ずしない。再検査は家族は年続けてまで後までを避けて理由が公に寄られて

## 親思う障

### ひとし

小春日和の休日。入る前に、1階の障子張りを手伝った。小学生のころの障子張りを手伝った。小学生のころの障子張りを手伝った。小学生のころの障子張りを手伝った。